



14.21  
368



始







大正四年五月

大正三年度業務功程

大分縣立農事講習所



大正三年度大分縣立農事講習所業務功程

目次

講習講話及實地指導

一、長期講習(第六回).....

二、短期講習.....

三、講話及實地指導.....

水稻

一、粳品種試驗(第二期、第一回).....

二、糯品種試驗(第五回).....

三、畿内支場交付分配品種試驗(第三回).....

四、豐凶考照試驗(第七回).....

五、肥料用量試驗(第三回、木框).....

六、石灰加用量試驗(第三回、木框).....

七、過磷酸石灰用量查定試驗(第一回、木框).....

四

四

三

三

二

二

二

二

大正  
4. 7. 10  
内交



八、密植試驗(第一回).....	五
九、稻苗切斷試驗(第一回).....	五
十、稻莖切斷試驗(第一回).....	六
十一、有臭米特性調查試驗(第二回).....	六
<b>麥</b>	
一、稈麥品種試驗(第六回).....	六
二、大麥品種試驗(第六回).....	六
三、小麥品種試驗(第四回).....	七
四、幾内支場交付稈麥交配品種試驗(第三回).....	七
五、幾内支場交付小麥交配品種試驗(第三回).....	七
六、豐凶考證試驗(稈麥、大麥第六回、小麥第四回).....	八
七、畦幅對縱作筋切方試驗(第一回).....	八
八、畦幅對橫播條距離試驗(第一回).....	八
<b>陸 稻</b>	
一、陸稻品種試驗(第二回).....	九

五六  
01.7.4  
文内

一、粟品種試驗(第二回).....	八
<b>採種作</b>	
一、稻麥採種作(稻第七回、麥第六回).....	〇
<b>七 島 蘭</b>	
一、七島蘭龜甲病豫防試驗(第五回).....	一
<b>蠶 桑</b>	
一、附設原蠶種製造所試驗.....	二
(1) 春蠶種類試驗(第三回).....	二
(2) 秋蠶種類試驗(第二回).....	二
(3) 冷蔵秋蠶種ノ發生ト再貯藏トノ關係試驗(第一回).....	二
(4) 種苗撰別ニ關スル試驗(第一回).....	三
(5) 蠶種類改良ニ關スル試驗(春蠶第一回、秋蠶第二回).....	三
(6) 二化性蠶種究理催青調査(第二回).....	四



二、長期講習生養蠶實習(第六回)	一四
三、原蠶種ノ配付	一四
四、桑園	一五
(1) 普通桑園及見本桑園	一五
(2) 桑園間作青刈蠶豆綠肥試驗(第一回)	一五
蔬菜類	
一、模範作	一五
二、茄子品種試驗(第四回)	一六
三、茄子木灰加用量試驗(第三回)	一六
四、胡瓜品種試驗(第四回)	一六
五、南瓜品種試驗(第二回)	一七
六、漬菜品種試驗(第四回)	一七
七、漬菜播種期試驗(第二回)	一七
八、大根品種試驗(第四回)	一八
九、大根播種期試驗(第四回)	一八

十、胡蘿蔔品種期試驗(第二回)	一八
十一、馬鈴薯品種試驗(第二回)	一九
果樹類	
一、苗圃	一九
二、柑橘園	二〇
三、柑橘貯藏試驗	二〇
(1) 被覆物及敷物ノ種類試驗(第二回)	二〇
(2) 結果ノ位置ニヨル貯藏力試驗(第二回)	二一
(3) 摘果及取扱ノ精粗試驗(第一回)	二一
(4) ネーブルオレンジ果累積ノ高低試驗(第二回)	二二

種苗配付

一、稻麥原種配付(稻第七回、麥第六回)	二二
二、其他ノ種苗配付	二三

雜件



一、印刷物	二二
二、質問應答	二四
三、公文書發收件數	二四
四、職員出張	二四
五、參觀人員	二五
六、職員移動	二五
七、現在職員	二五

大正三年度大分縣立農事講習所業務功程

◎講習講話及實地指導

一、長期講習 (第六回)

本年度長期講習ハ大正三年三月一日之ヲ開始シ全年八月廿五日ヲ以テ終了ヲ告ケ全日卒業式ヲ舉行シ四十名ニ對シ卒業證書ヲ授與セリ明治四十二年開始以來修得生ノ累計二百二十六名ナリ

二、短期講習 (第七回)

本年度短期講習ハ各郡ヲ通シ六十九箇所内普通作物十九箇所園藝六箇所林業十二箇所養蠶十六箇所畜産九箇所屑物整理七箇所修得人員三千八十八人明治四十一年開始以來ノ累計一萬九千四百二十五人ニシテ本所開設當時ニ於ケル十年計劃豫定數二萬人ハ七箇年ニシテ殆ト其數ニ達セリ但講習日數ハ屑物整理ハ十日乃至二十五日間其他ノ學科ハ五日間トス

三、講話及實地指導

各郡ノ申請ニヨリ關係技術員ヲ出張セシメ講話及實地指導ヲナシタル事總テ五十五回内普通農事二十四回園藝九回養蠶十四回林業一回畜産三回菌蟲四回ニシテ日數總テ百五十二日ヲ要セリ





一、粳品種試驗 (第二期第二回)

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ各品種ニツキ生育ノ狀況收量ノ多少品質ノ良否等ヲ比較シテ本縣所適ノ良種ヲ選出セントスルモノニシテ早稻十六種中稻十四種晚稻廿六種ヲ試栽セル成績ニヨレバ早稻ニテハ穀良郡、辨慶、赤土佐、中稻ニテハ小澤錦、大石、竹成、晚稻ニテハ神力、讚岐、晚千本等成績良好ナリ、

而シテ累年平均收量ニ於テハ早稻ハ辨慶、鍋島、關取、中稻ハ小澤錦、大石、中熟神力、晚稻ハ神力、讚岐、晚千本等優良ナリ

二、糯品種試驗 (第五回)

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ粳品種試驗ト同様ニシテ神力糯、羽二重糯、赤糯、粳糯、計四種ノ内神力糯、粳糯等成績良好ナリ、而シテ累年平均收量ニ於テモ右二種優良ナリ

三、幾内支場交附交配品種試驗 (第三回)

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ前項同様ナリ、而シテ中稻九種(外一種標準ト

シテ渡船ヲ用ユ)晚稻十三種(外一種ハ標準用トシテ神力ヲ用ユ)ニシテ標準種ヨリ優良ナルモノハ中稻ニ於テ幾内中稻一五號全四號全八號全四七號全九三號ノ五種ニシテ晚稻ニハ一モ標準種ニ優ルモノナシ、而シテ累年平均收量ニ於テハ中稻ハ幾内中稻八號全九三號ノ二種ニシテ晚稻ハ一モ優ルモノナシ

四、豊凶考證試驗 (第七回)

毎年全一品種ヲ全一ノ方法ニテ栽培シ以テ當年ノ豊凶ヲ考證セントスルモノニシテ本年度成績ハ早稻平均三石八升七合、中稻平均三石四斗八升五合、晚稻平均四石一斗四升七合ニシテ前年ニ比シ早稻四歩八厘強、中稻六厘強、晚稻一步一厘強ヲ増シ前六ヶ年平均收量ニ比シ早稻ハ一割六歩八厘強、中稻ハ二割二歩強、晚稻ハ二割八歩二厘強ノ增收ヲ示シ大豊作ナリキ

五、肥料用量試驗 (第三回木框)

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ肥料用量ノ多少ト稻ノ收量品質トノ關係及其經濟關係上如何ナル影響ヲ及ホスカヲ知ラントスルモノニシテ(一)標準區、(二)全上一割増區(三)全上二、五割増區(四)全上五割増區、(五)全上七、五割増區(六)二倍量區ノ六區ニ別テ試験シタル成績ニヨレバ第六區二倍量區收量最多ク肥料ヲ減スルニ從ヒ收量モ漸次遞減セリ、而シテ



標準區ト二倍量區トハ其差約一割九步ナリ、而シテ累年平均收量ニ於テハ肥料ノ用量ヲ増スニ從ヒ收量モ亦從フテ増加シ標準區ト二倍量區トハ其差ハ實ニ一割三步四厘強ヲ示セリ、

### 六、石灰加用量試験 (第三回、木框)

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ有機性肥料ニ加用スヘキ石灰ノ適量ヲ知ラントスルモノニシテ (一) 標準區 (石灰不加用) (二) 全上石灰十貫加用區 (三) 全上石灰二十貫加用區 (四) 全上石灰三十貫加用區 (五) 全上石灰四十貫加用區 (六) 全上石灰五十貫加用區 (七) 全上石灰七十貫加用區 (八) 全上石灰百貫加用區總テ八區ニ別テ試験シタル成績ニヨレバ石灰百貫加用區收量最多ク而シテ石灰廿貫加用區ト全卅貫加用區ト少許ノ差ヲ以テ轉倒シタル外石灰加用量ノ少ナキニ從ヒ收量順次相劣リ標準區ノ收量最劣レリ、而シテ標準區ト石灰百貫加用區トヲ比較スルニ其差二割一分強ヲ示セリ累年平均收量ニ於テハ七區ト八區ト轉倒セルノミニシテ他ハ總テ石灰加用量ノ増加ニ從フテ收量ヲ増加シ標準區ト最多收量區トヲ比較スルニ其差ハ二割三分強ナリ

### 七、過磷酸石灰用量查定試験 (第一回木框)

本試験ノ目的トスル處ハ磷酸成分ヲ主トシテ過磷酸石灰ヨリ取ル場合ニ於テ幾何量迄ガ其效能ヲ充分ニ發揮シ得ルモノナルヤヲ知ラントスルモノニシテ (一) 標準區 (過磷酸石灰五貫使用)

(二) 過磷酸石灰七貫五百匁使用 (三) 全上十貫使用 (四) 全上十二貫五百匁使用ノ四區ニ分テ試験シタル結果ニヨレハ第四區最收量多ク過磷酸石灰施用量ノ少ナキニ從ヒ收量遞減セリ然レトモ其差ハ其タ僅少ニシテ第一區ト第四區トハ二步三厘強ノ差ナリ

### 八、密植試験 (第一回)

本試験ノ目的トスル處ハ長方形密植ヲナスニ當リ其適度ヲ知ラントスルモノニシテ (一) 一坪一合播皆一本植七十二株 (二) 全九十株 (三) 全百二十株 (四) 一坪二合播苗二本植七十二株 (五) 全九十株 (六) 全百二十株 (七) 一坪三合播苗三本植七十二株 (八) 全九十株 (九) 全百二十株ノ九區ニ分テ試験シタル成績ニヨレハ二本植百二十株ト三本植百二十株トハ僅少ノ差ヲ以テ二本植百二十株ノ收量優リ一本植九十株之ニ次ケリ

### 九、稻苗切斷試験 (第一回)

本試験ノ目的トスル處ハ稻苗移植ノ際ニ苗ヲ切斷スルト否トハ爾後ノ生育收量ニ如何ナル影響ヲ及ホスモノナルヤヲ知ラントスルモノニシテ第一區標準 (不切斷) 第二區全長ノ三分ノ一切斷第三區全長ノ二分ノ一切斷ノ三區ニ分テ試験 (早中晚三種ニ就キ) シタル結果ニヨレハ早中晚共ニ不切斷區最モ優良ニシテ早中二種ハ三分ノ一切斷區之ニ次キ晚稻ハ二分ノ一切斷區之ニ次



### 十、稻莖切斷試驗（第一回）

本試驗ノ目的トスル處ハ稻ノ移植後一定期日ヲ定メ地面上一定ノ高サヨリ莖ヲ切斷シ以テ爾後ノ生育收量等ニ如何ナル影響ヲ及ホスモノナルヤヲ知ランスルモノニシテ第一區標準（不切斷）第二區移植後二週日目地上一寸ヲ殘シ切斷第三區移植後三週日目地上一寸ヲ殘シ切斷第四區移植後地上一寸ヲ殘シ切斷ノ四區ニ別チ試驗（早中晩三種ニ就キ）シタル結果ニヨレハ早中晩稻ヲ通シ不切斷區最モ優良ナル成績ヲ示シ爾後切斷期ノ遲延スルニ從ヒ著シク收量ヲ減セリ

#### ◎ 麥

### 一、裸麥品種試驗（第六回）

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ水稻品種試驗ト同様ナリ、總テ三十種ニツキ試驗シタル成績ニヨレハ昌精、三島裸、岡山裸等優良ノ成績ヲ舉ケタリ、而シテ累年平均收量ニ於テハ岡山裸、大島日麥、三島裸等優良ナリ

### 二、大麥品種試驗（第六回）

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ前項同様ナリ、總テ八種ニツキ試驗シタル成績

ニヨレハ獨乙春蒔、改良大麥大穀大麥等優良ノ成績ヲ舉ケタリ、而シテ累計平均收量ニ於テモ亦獨乙春蒔、改良大麥大穀大麥等優良ナリ

### 三、小麥品種試驗（第四回）

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ前項同様ナリ、總テ十三種ニツキ試驗シタル成績ニヨレハ伊賀筑後、江嶋、鹿兒嶋シツブ等優良ノ成績ヲ示シ累年平均收量ニ於テハ伊賀筑後、筑前、中村等最優良ナリ

### 四、幾内支場交附裸麥交配品種試驗（第三回）

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ前項同様ナリ、總テ六種及標準垂水トヲ以テ試驗シタル成績ニヨレハ標準以上ノ成績ヲ舉タルモノ左ノ如シ

- 一、本年 度 21<sup>7</sup>母<sup>17</sup>丹波白 甲 43<sup>母</sup>丹波白 甲 41<sup>母</sup>丹波白 甲 37<sup>母</sup>丹波白
- 二、累年平均 37<sup>母</sup>丹波白 甲 43<sup>母</sup>丹波白 甲 41<sup>母</sup>丹波白 甲 35<sup>母</sup>丹波白

### 五、幾内支場交附小麥交配品種試驗（第三回）

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ前項同様ナリ、總テ十七種及標準伊賀筑後ヲ以テ試驗シタル成績ニヨレハ本年成績ニ於テモ累年平均收量ニ於テモ標準以上ノ成績ヲ舉タルモノ



### 六、豊凶考證試験（裸麥、大麥第六回、小麥第四回）

毎年全一ノ方法ニヨリ栽培シ以テ當年ノ豊凶ヲ査定セントスルモノニシテ試験ノ成績ニヨレハ裸麥平均一石二斗九升三合、大麥平均一石四斗九升一合、小麥平均一石五斗七合ニシテ前年ニ比シ裸麥ハ七割大麥ハ九割二歩弱小麥ハ三割三歩強ノ減收ヲ示セリ、而シテ前五ヶ年平均（小麥ハ前三ヶ年平均収量）トノ比較ニ於テ裸麥ハ五割九歩強、大麥ハ九割五歩強、小麥ハ三割二歩強ノ減收ニシテ大凶作ナリ、

### 七、畦幅對縱作筋切方試験（第一回）

本試験ノ目的トスル處ハ畦幅ノ廣狹ニヨリ作筋ノ切方ト収量ニ如何ナル關係ヲ及ホスモノナルカヲ知ラントスルモノニシテ（一）三尺畦一條播區（二）四尺畦二條播區（三）四尺畦三條播區（四）六尺畦三條播區（五）六尺畦四條播區ノ五區ニ別テ試験シタル成績ニヨレハ第五區六尺畦四條播區收量最多ク第二區四尺畦二條播區之ニ次キテ優良ナル成績ヲ示シ第四區六尺畦三條播最劣レリ、

### 八、畦幅對橫播條距離試験（第一回）

本試験ノ目的トスル處ハ畦幅ノ廣狹ニヨリ之ニ橫播スル場合ニ於テ其距離ノ大小ト収量ニ如何

ナル關係ヲ及ホスモノナルヤヲ知ラントスルモノニシテ（一）三尺畦一尺二寸距區（二）全一尺五寸距區（三）全二尺距區（四）四尺畦一尺二寸距區（五）全一尺五寸距區（六）全二尺距區（七）四尺畦一尺二寸距區（八）全一尺五寸距區（九）全二尺距區ノ九區ニ別テ試験シタル成績ニヨレハ第七區六尺畦一尺二寸距區收量最多ク第九區六尺畦二尺距區之ニ次キ第八區六尺畦一尺五寸距區最劣レリ、

### ◎有臭米特性調査試験（第二回）

前年ニ引續キ試験セルモノニシテ本縣有臭米ノ撲滅獎勵上有効材料ヲ得ンガ爲メ試験ヲ重ネタレバ遂ニ普通種トノ特異点ヲ發見スル事ヲ得サリシヲ遺憾トス、本年新タニ二種ヲ加ヘタレバ却テ普通種ニ近キ外觀ヲ呈シテ一層特異点ヲ發見スルニ若シマシメタリ、故ニ他ノ方法ヲ以テ之ガ絶滅ノ法ヲ講スルノ有効ナルベキヲ信スルモノナリ、

### ◎陸 稻

### 一、陸稻品種試験（第二回）

前年ヨリ繼續セルモノニシテ其目的トスル處ハ水稻品種試験ト同様ナリ  
梗六種糯六種ニツキ試験シタル成績ニヨレハ梗ニテハ横山、坊主梗、おいらん等優良ノ成績ヲ



示ハ糯ニテハあらびや糯、野糯坊主糯等優良ナリ

◎粟

一、粟品種試験（第二回）

前年ヨリノ繼續ニシテ其目的トスル處ハ水稻品種試験ト同様ナリ  
梗五種糯一種ニツキ試験シタル結果ニヨレハ國分（梗）駒繁場（梗）もうくわん（梗）等優良  
ナリ而シテ累年平均收量ニ於テハもうくわん（梗）駒繁場（梗）國分（梗）等優良ノ成績ヲ舉  
ゲタリ

◎採種作

一、稻麥採種作（稻第七回、麥第六回）

米麥良種普及ノ目的ヲ以テ本所開設以來本所試驗地ニ於テ優良ト認メタル米麥ノ良品種ヲ栽培  
シヨリテ得タル種子中其四分ノ三ハ縣農會ニ四分ノ一ハ本所長期講習卒業生、及短期講習修得  
者等ニ無償配付ヲナシ廣ク良種ノ普及ヲ計リツ、アリ而シテ本年度ニ於テハ早稻辨慶、中稻渡  
船、五反穂、岡山天狗、晚稻神力、猫又、及神力糯ノ七種合計十六石三斗九升、麥ニ於テハ裸  
麥垂水、大麥、一皮大麥、小麥、伊賀筑後、濠洲小麥ノ四種合計四石四斗九升五合ヲ選別配付

用ニ供セリ

◎七島藺

一、七島藺鼈甲病豫防試験（第五回）

本試験ハ灌溉水ニヨリテ七島藺ノ鼈甲病ヲ豫防センガ爲メ前年全樣無灌水法其一、全其二、全  
其三、灌水法、立越法、畑作法、ノ六區ニ別テ繼續施行セリ而シテ被害歩合最モ尠ナキハ無灌  
水法其三即チ側灌溉ノ三分三厘次ハ全其二ノ七分九厘ニシテ其他立越法八分四厘灌水法九分二  
厘無灌水法其一ノ一割順次之レニ次ギ最モ多キハ畑作法ノ一割二厘ニシテ該法ノ被害甚ダシキ  
ハ一見奇異ノ觀ナキ能ハザルガ如キモコハ移植後早天打續キタル爲メ分蘖生育共ニ頗ル不良ナ  
リシガ末期ニ至リ潤雨ニ遇ヒ粒筋粗大トナレリヨリテ被害ノ本數ヨリ云フトキハ僅少ナリシニ  
モ係ラズ重量多カリシニ起因スルモノニシテ敢テ怪ムニ足ラズ  
要之鼈甲病ト灌溉水トハ密接ノ關係ヲ有スルヤ明カナリ而シテ連年ノ試験成績ニ徴スルニ諸法  
中側灌溉法ト立越法トハ實際的豫防ノ方法ニシテ該法ニヨルトキハ殆ンド所期ノ目的ヲ達スル  
コトヲ得ベシ故ニ之レガ具体的方案ハ研究ヲ重子確報セント欲ス



一、附設原蠶種製造所試驗

(1) 春蠶種類試驗 (第三回)

前年度供試種類中優良ノ成績ヲ舉ケタル又昔五號、又昔二號、白龍五號、掛合六號、掛合八號及清國七號ノ六種ヲ採リ比較試驗ヲ行ヒタリ其中又昔五號及掛合六號ノ二種最モ優良ニシテ白龍五號最モ不良ナル成績ヲ示セリ

(2) 秋蠶種類試驗 (第二回)

白龍二種、日本錦二種、青熟六種、中菓、國富、白鶴、大白龍、千代鶴二號、豐國錦、支那又、支那ノ各一種、計十八種、蠶量三分宛ヲ收メ比較試驗ヲ行ヒタリ其中青熟三號、青熟一號、千代鶴二號、青熟四號ノ四種優良ニシテ支那ハ最モ不良ノ成績ヲ現ハセリ

(3) 冷蔵秋蠶種ノ發生ト再貯藏トノ關係試驗 (第一回)

冷蔵秋蠶種ハ晚秋取出ニ當リ其發生ヲ良好ナラシムル方法ヲ考究スルモノニシテ概シテ再貯藏

ヲナセルモノ普通貯藏ノモノニ比シ發生良好ナルモノノ如シ而シテ再貯藏ノ期間及初出庫ノ時期ニ關シテハ回ヲ重ネテ考究セントス

(4) 種繭撰別ニ關スル試驗 (第一回)

種繭撰別ノ方法ニ關スルモノニシテ本試驗ハ只繭形ノ大小ニヨリ撰別方法ヲ異ニシ調査ヲ行ヘリ供試ノ種類ハ二化性國富ニシテ冷蔵秋蠶種ナリ、本年度僅ニ一回ノ試驗ニシテ今茲ニ斷定ヲ下シ能ザレト概シテ其ノ種類ノ虫質ハ粗撰ヲセルモノ良好ナレト繭質ハ「モート」ヲ中心トシテ撰別セルモノ良好ナリ、

(5) 蠶種類改良ニ關スル試驗

(甲) 春蠶之部 (第一回)

日本種五種、支那種四種、歐州種十種ニ付キ四十五種ノ交配種ヲ製造シ第一代ノ飼育ヲナシ更ニ逆交配又ハ複交配ヲ行ヒタリ、

(乙) 秋蠶之部 (第二回)



前年度試験ニ供セル交配種中優良ナルモノ五種ヲ採リ更ニ日本錦白龍ニ清國六號、掛合六號、又昔五號、三龍又ノ四種ヲ交配シ飼育ニ供シ六十二種ノ逆交配又ハ復交配ヲ行ヒタリ

(6)

二化性蠶種究理催青調査 (第二回)

本調査ニ供セルハ大久保竹次郎中巢、渡邊勝司青熟、都留猛世界一、長野六郎青熟ノ四種ニシテ大久保中巢ハ九日間乃至十日間渡邊青熟ハ五日乃至六日間都留世界一ハ十日間以上長野青熟ハ六日乃至八日間低温催青スルヲ要スルモノノ如シ、

二、長期講習生養蠶實習 (第六回)

蠶種ハ又昔十二種、青熟三種、交配種十種、赤熟、伊達錦、清國六號、全七號、全廿號各一種計三十種ニシテ担當蠶量四分總計十七夕二分ニシテ四月廿四日掃立早キハ五月廿一日晚キハ五月廿四日上簇セリ

三、原蠶種ノ配付

本年度配付ノ原蠶種ハ又昔五號ノ一種ニシテ配付蠶數左ノ如シ  
又昔五號 七、九九二蛾

四、桑園

(1) 普通桑園及見本桑園

反別桑園ハ壹町五反七畝十二歩ニシテ桑ノ品種ハ普通桑園ニアリテハ市平、九紋龍、鶴田、魯桑、十文字ノ五種ニシテ見本桑園ハ早生六種、中晩生四種、合計二十二種ヲ栽培セリ  
仕立法ハ全部普通根刈トシ諸種ノ試験ヲナシ又當業者ニ範ヲ示スト共ニ長期講習生ノ實習用ニ供ス

(2) 桑園間作青刈大豆綠肥試驗 (第一回)

桑園綠肥トシテ蠶豆栽培ノ方法ヲ考究セントスルモノニシテ本年度ニ於ケル成績ハ播種期ハ早キ程收量多ク十月一日播種ノモノ反當三百八貫ヲ收メ播種法ハ撒播セルモノ收量最も多ク二條五寸距離三粒播ノモノ之ニ次キ一條一尺距離一粒播ノモノ最も少ナシ而シテ收穫期ハ事情ノ許ス限リハ晚キヲ宜シトス

◎ 蔬菜類

一、模範作

本年度ニ於テ模範栽培ヲナシタル蔬菜類ヲ擧クレハ左ノ如シ



- (1) 茄子 (2) 蕃茄 (3) 越瓜 (4) 南瓜 (5) 胡瓜 (6) 西瓜 (7) 苦瓜 (8) 馬鈴薯
- (9) 葱 (10) 葱頭 (11) 甘藍 (12) 花椰菜 (13) 石刀柏 (14) 土當歸 (15) 萵苣 (16) 菠薐草
- (17) 欸冬 (18) 蠶豆 (19) 甘藷 (20) 里芋

### 二、茄子品種試驗 (第四回)

前年ニ引續キ各品種ニ付生育ノ狀況收量ノ多寡品質ノ良否等ヲ比較シ本縣所適ノ良種ヲ檢出セシトスルニアリ供試品種ハ行徳茄子外六種ニシテ樹勢強健且ツ豐産ナリシハ大形長茄子ニシテ江戸茄子之ニ亞ケリ而シテ比較的病害及旱害ニ強カリシハ小森野茄子ナリシ

### 三、茄子木灰加用量試驗 (第三回)

木灰加用ノ量ニヨリ收量及品質ニ及ホス關係ヲ知ラントスルモノニシテ (1) 十貫加用區 (2) 二十貫加用區 (3) 三十五貫加用區 (4) 四十貫加用區 (5) 五十貫加用區ノ五區ニ別チ試驗ヲナシタル成績ニヨレハ品質優良且ツ多收ナリシハ第二區二十貫施用シテ其用量ヲ増加スルニ從ヒ皮膚硬ク且ツ肉緊リ能キモ品質ハ劣レリ之ニ依テ見レハ木灰加用量ハ一反當リ二十貫内外ヲ適當トスルモノノ如シ

### 四、胡瓜品種試驗 (第四回)

試驗ノ目的ハ茄子ニ全シ

札幌大胡瓜外四種ヲ以テ試驗シタル成績ニヨレハ品質佳良豐産ナリシハ青大胡瓜及札幌大胡瓜ニシテ庄内胡瓜ハ早生種ナルモ病害ニ侵サレ易キ缺点アリ

### 五、南瓜品種試驗 (第二回)

試驗ノ目的ハ茄子ニ全シ

早生小南瓜外四種ニシテ品質佳良豐産ナリシハ大縮緬種ニシテ又豐産ナラサルモ早生小南瓜ノ加キハ早熟種ナルヲ以テ價格ニ於テハ相當ノ收利アリ

### 六、漬菜品種試驗 (第四回)

試驗ノ目的ハ茄子ニ全シ

供試品種茨城結球白菜外十二種ニシテ品質佳良且ツ豐産ナリシハ茨城結球白菜及芝兼白菜ニシテ長崎白菜之ニ亞ケリ

### 七、漬菜播種期試驗

一、試驗ノ目的ハ漬菜類下種ノ適期ヲ檢出セントスルニアリ長崎白菜ヲ供用シ八月二十日ヨリ九月三十日迄十日毎ニ下種試驗セシニ生育旺盛品質良好ナリシハ八月三十日播九月十日播ナリ



一八  
シ八月二十日播ハ時期早キカタメ病虫害ニ侵サレ品質不良トナレリ之ニ依テ見レハ多少其年ノ氣候ニヨリ相違アレモ本所ニテハ九月初旬適期ナルカ如シ

### 八、大根品種試験 (第四回)

試験ノ目的ハ茄子ニ全シ  
供試品種ハ田邊大根外七種ニシテ品質良好豊産ナリシハ聖護院大根、宮重大根、美濃早生種ニシテ大紅大根青大根等ハ收量少ナク實用的ノモノニ非ラズ

### 九、大根播種期試験 (第四回)

試験ノ目的ハ漬菜播種期試験ニ全シ  
供試品種ハ田邊大根ニシテ八月二十日ヨリ十日毎ニ九月三十日迄總テ五區ニ別テ試験シタルニ生育良好品質佳良病害虫ニ侵サレサリシハ九月初旬下種區ナリ而シテ八月二十日及九月三十日下種ノモノハ收量少ナク品質一般ニ劣レリ

### 十、胡蘿蔔品種試験 (第二回)

試験ノ目的ハ茄子ニ全シ  
供試品種金時外四種ニシテ收量多カリシハ東京大長種ニシテ收量ハ稍々劣レルモ品質佳良ナ

ルハ長崎種ナリシ

### 十一、馬鈴薯品種試験 (第二回)

試験ノ目的ハ茄子ニ全シ  
供試品種「ホワイトキドニー」種外三種ニシテ收量多ク且ツ強健ナリシハ長崎赤種ニシテ「ホワイトキドニー」種ハ品質ハ佳良ナレモ多收ナラス

### ◎ 果樹類

### 一、苗圃

長期講習生ノ接木實習用ニ供スルノ傍ラ果樹類ノ良種普及ノ目的ヲ以テ左記品種ヲ育成シ配付用ニ供セリ

- (1) 枇杷二月中旬實生砧木五百本ニ茂木枇杷ヲ接木セリ然レモ本年ハ早害ヲ受ケ生育不良ナリシ
- (2) 梨二月下旬ヨリ三月下旬迄ニ長十郎獨逸ノ二種ヲ接木セシニ之レ又夏季早害ヲ受ケ一般ニ生育不良ナリシ然レモ据ヘ接キノモノハ活着良好ナリシ
- (4) 柿三月中旬實生砧木ニ富有種並ニ佐伯タネナシ種ヲ接木セシニ時恰モ降雨頻繁ナリシタメ活着不良ナリシ



- (5) 桃三月下旬實生枯木ニ「カールマン」種ヲ接木セシニ生育佳良ナリシ

## 二、柑橘園

- (1) 柑橘試験地 北海道郡津組村ニアリ面積六反歩ニシテ大正元年度ニ於テ温州密柑、早生温州「ワシントンチーブル、オレンヂ」「タムソン、チーブル、オレンヂ」夏橙、及金柑ノ七種ヲ栽培セルモノニ係リ本年度ニ於テモ前年ト全シク主トシテ樹勢ノ發育ヲ圖リ栽培法及病害虫驅除豫防等ノ模範ヲ示スト共ニ品種ノ優劣ヲ比較セント欲スルモ未タ少數ノ結果ヲ見タルニ過キス
- (2) 「ネーブル」模範園 本年度ヨリ北海道郡白杵町ニ十四年生「ネーブルオレンヂ」園五反歩ヲ借地シ栽培法及病害虫驅除豫防法等ノ模範ヲ示サントス而シテ本園ハ從來樹勢頗ル衰弱シ且手入等不行届ノモノナリシヲ以テ施肥剪定等ニ注意シ以テ樹勢ノ恢復ヲ圖リ且瘡痂病ノ豫防ニ努メタリ

## 三、柑橘貯藏試験

- (1) 被覆物及敷物ノ種類ニ關スル試験 (第二回)

被覆物及敷物ノ種類カ貯藏上如何ナル關係ヲ有シ且何レカ最モ適當ナルヤヲ知ラントスルモノニシテ甲「ネーブルオレンヂ」ニ對シイ青木葉區(麥稈區ハ落葉區ニ「バラフィン」紙包區(乙)温州密柑ニ對シイ)青木葉區(麥稈區ハ落葉區ノ上)區ヲ設ケ試験シタル成績ニ依レハ甲「ネーブルオレンヂ」ニ於テハ「バラフィン」紙包ノ成績最モ佳良ニシテ麥稈及落葉ハ遙ニ劣リテ之ニ次キ青木葉最モ劣レリ又(乙)温州密柑ニアリテハ「ネーブルオレンヂ」ノ成績ニ反シ青木葉ノ成績佳良ニシテ麥稈之ニ次キ落葉最モ劣レリ而シテ落葉區ノ成績最モ劣レルハ累積ノ下部ニ生セシ腐敗果ヲ早ク見出サバリシカ爲メ之カ周圍ノ果ヲ害シ以後之カ影響ヲ被ムリテ被害果ヲ續出セシメタルニ依ル

- (2) 結果ノ位置ニヨル貯藏力試験 (第二回)

本試験ハ一樹中ニ於テ樹ノ内部外部及下部ニ結果セル位置ノ如何ニヨリ貯藏上如何ナル差異ヲ生スルヤヲ知ラントスルモノニシテ甲(温州密柑及乙)小密柑共ニイ(天實(ロ)中實(ハ)下實(三)通宛ニ分チ試験シタル成績ニ依レハ兩種共ニ天實ノ成績最モ佳良ニシテ中實之ニ次キ下實最モ劣レリ之ニ依テ見レハ貯藏用ニ供スルモノハ天實若クハ中實ヲ撰フヲ可トスベシ

- (3) 摘果及取扱ノ精粗試験 (第一回)



本試験ハ摘果及取扱ノ精粗ニヨリ貯藏上如何ナル關係アルヤヲ驗セントスルニアルモノニシテ「ネーブルオレンジ」及温州ノ二種ヲ供用シ何レモイ特ニ摘果及取扱ニ注意シタルモノ(普通ノ摘果及取扱ヲナシタルモノニ付貯藏力ノ優劣ヲ試ミタルニ二種共ニ收穫ノ際果ヲ重ニ取扱ヒタルモノハ其粗雑ナルモノニ比シ孰レモ著シク腐敗歩合少ナカリシ左レハ收穫ノ際粗略ノ取扱ヲナスハ最モ戒ムベキ事ナリトス

(4) 「ネーブルオレンジ」果累積ノ高低試験(第二回)

「ネーブルオレンジ」果累積ノ高低ト貯藏力トノ關係ヲ知ラントスルモノニシテ一重並列、二重並列、三重並列ノ三區ニ分チ試験シタル成績ニ依レハ一重並列ノ成績最モ佳良ナルコト前年ニ全シク二重三重並列ハ腐敗多ク二者ノ間ニハ著シキ差異ナシ而シテ二重三重並列ハ累積ノ爲メ腐敗果ヲ見出シ難ク且腐敗果ヲ生スルトキハ其周閉ノ果ニ被害ヲ及ホシ易キノ欠点アリ

◎種苗配付

一、稻麥原種配付(稻第七回、麥第六回)

大正三年度ニ於テ得タル稻麥原種ハ水稻ニ於テハ早稻辨慶、中稻渡船、五反穗、岡山天狗、晚

稻神力 猫又及神力糯計十六石三斗九升麥ニ於テハ稷麥垂水、大麥一皮、小麥伊賀筑後、濠洲

小麥計四石四斗九升五合ヲ縣農會長期講習生、短期講習生及其他ノ希望者ニ配付セリ

二、其他ノ種苗配付

長期講習生ノ實習用ニ供スルノ傍ヲ良種普及ノ目的ヲ以テ果樹ニ於テハ梨、柿、枇杷、等ノ苗木、蔬菜類ニ於テハ茄子、胡瓜、南瓜、甘藍、葱頭等ノ苗、白菜種子其他養蠶種子、除虫菊苗等ヲ育成配付シ又全様ノ目的ヲ以テ家禽ヲ飼育シ其種卵ヲ配付セリ

◎雜件

二、印刷物

- (1) 事業報告第五號 九百部
- (2) 蔬菜栽培法一覽表 千部
- (3) 鷺兒飼育標準表(春、秋) 三千枚
- (4) 全上 (清國種) 五百枚
- (5) 春蠶飼育概要 千枚



(6) 附設原蠶種製造所成績 二百四十部  
(7) 年中行事 千枚

二、質問 應 答

(1) 作物 二十一件  
(3) 病虫害 十件  
(5) 畜産 五件  
(7) 雜 九件  
(2) 蠶業 七件  
(4) 肥料土壤 十四件  
(6) 農具 六件  
七十二件

三、公文書發受件數

(1) 文書受收數 千二十四件  
(2) 文書發送數 千二百五十六件  
(3) 四、五種及小包郵便電信 六百四十四件  
計 二千九百二十四件

四、職員 出張

(1) 講習及講話 六百九十二日  
(2) 調査及視察 百三十八日  
(3) 實地指導 三十一日  
(4) 品評會 九十九日  
(5) 其他 百九十五日  
計 千百五十五日

五、參觀 人員

本年度ニ於ケル參觀人員ハ二千四百三十二人ニシテ内他縣人ハ八十六人ナリ

六、職員 異動

囑托講師	綾部源橘	大正三年四月就任
全	穂坂重吉	全 年七月就任
書記	大津織馬	大正四年二月辞任
技師	吉富正	全 年三月辞任
囑托講師	安藤一	全 年全月就任
全	富永馬吉郎	全 年全月就任
全	岡本寛	全 年全月就任
技手	海北誠	全 年全月就任
全	伊東平祐	全 年全月轉任

七、現在職員 (大正四年三月三十一日現在)



14.2  
368

全 囑托講師(縣技手)  
 技手  
 全 技手  
 雇 佐藤 三  
 加藤 又右衛門  
 内藤 文彦  
 岡本 寛  
 玉置 た  
 佐藤 三

小 県立職員 (大正) 技師  
 所長 (員三十一日) 幾太郎  
 囑托講師(縣技師) 安藤 一  
 兼技師(縣技師) 山口 彌太郎  
 兼技師(縣農業技師) 有川 哲二  
 囑托講師(縣林業技師) 富永 吉郎  
 技師 谷口 茂夫  
 囑托講師(縣農會技師) 綾部 源吉  
 囑托講師(縣視學) 穂坂 重直  
 技手 太田 吉  
 技手、兼書記 小野 清人  
 技手 木戸 佐一  
 全 吉良 武一  
 技手 海北 誠  
 全 佐藤 伯  
 正 職員 人員全  
 大正 職員 人員全  
 大正 職員 人員全







終

